

2006.5.15.発行

# Challenge Road

SINCE 1961

学校法人 トヨタ名古屋整備学園  
トヨタ名古屋整備専門学校

〒452-8567 愛知県西春日井郡春日町落合一番割1  
TEL:052-400-3611 FAX:052-400-3615

学校新聞編集局 発行責任者 藤田 紀一郎  
URL <http://www.toyota-tcn.ac.jp>

E-mail [gakuseibu@toyota-tcn.ac.jp](mailto:gakuseibu@toyota-tcn.ac.jp)



Vol.3

## 卒業式

### 3月22日、平成18年卒業式典を行いました。

今年、自動車整備科(2級コース)586名、自動車研究科(1級コース)27名が卒業証書を受け取り、社会人として新たなスタートを切りました。これによって、卒業生は累計で2万人を突破しました。

今年4月、自動車研究科を廃止し、1級自動車整備士コースを4年一貫教育の高度自動車科として新設したため、自動車研究科としては最後の卒業生となりました。式典で発表があったように、今回の卒業生の2年次皆勤は全体の65%で、過去最高でした。恒例のビデオレターのあと、式典の締めくくりとして、卒業生全員が一斉にカー杯「ありがとうございました」とあいさつし、お世話になった先生方へ心からの感謝を気持ちを表現しました。厳粛な中にも若さがあふれ、ご来賓、ご父母の皆様も感極まる卒業式となりました。

#### 校長式辞

卒業、おめでとうございます。教職員一同、心からお祝い申し上げます。皆さんは、当校の勉学の難しさや規律の厳しさに耐えながら、授業や海外研修、クラブ活動、ボランティア活動、学園祭などの学校生活を通じて、生涯の友を得ました。人の心の痛みを理解し、一方ではチームワークの大切さも知り、自らの成

長を実感していることと思います。皆さんの努力に深く敬意を表しますとともに、今後、社会に出てからも、自信と誇りを持って益々成長してくれるものと期待します。また、自動車研究科3期生の皆さんは通算4年間の1級コースにおいて、将来の整備業界を担う幹部候補生を目指して、幅広い専門知識の修得にチャレンジしてくれました。強い目的意識を持ち、自ら学ぶという向学心に燃え、先輩たちの指導も積極的かつ的確に行う姿は目を見張るものがあり、感動すら覚えました。いよいよ4月から、社会人としてスタートラインに立つわけですが、その前に皆さんには大きな関門が待っています。3月26日に行われる国家試験です。2月に行われた1級国家試験では、当校の先生11名が受験し、全員合格するという快挙を成し遂げました。皆さんも、当校の先生に教えられ、共に学んできたという自信を持って臨めば、必ず結果がついてくると信じて頑張ってください。

さて、入学式でお話した、3つの心構えを覚えていきますか。卒業にあたり、その心構えをそのまま、はなむけの言葉として贈りたいと思います。1つ目は、「夢や目標を実現するため、人生設計をしっかりと立て、学べ。未来はやってくるものではなく、自ら創り出すものだ」。2つ目は、「素直な心と好奇心を持って、そして向上心も。プロの整備士をめざせ」。3つ目は、「自ら考え、

行動する人になれ」。社会では、学校のように手取り、足取り面倒を見てくれる人はいないということを心に留めて、一層の精進に励んでください。

最後に、こうして晴れの卒業式を迎えられるのも、ご家族の物心両面からのご支援、熱意あふれる先生方、就職先の方々など、皆様のお陰であることを肝に銘じ、感謝の気持ちを忘れないようにしてほしいと思います。

それでは、新しい旅立ちに向け、もう一度、皆さんに「卒業おめでとう。GOOD LUCK!」と申し上げ、式辞といたします。

平成18年卒業生全員合格

国家2級整備士: 586名合格  
国家1級整備士: 27名合格



卒業証書授与

卒業生を祝福するバンド演奏

## 入学式

### 4月12日、平成18年度入学式典を行いました。

創立45周年を迎え、記念すべき年となった今年度は、自動車整備科に626名が入学したほか、今年度から4年制となる高度自動車科の3年次に36名が編入学し、新たなスタートを切りました。

#### 校長式辞

入学式を迎えられた皆さん、本当におめでとうございます。教職員一同、心から歓迎いたします。また、ご列席いただいた400名を越すご家族の皆様は心からお喜び申し上げますとともに、責任をもってお預かりすることを約束する次第です。

本日、自動車整備科(2級コース)626名、高度自動車科(1級コース)36名が、厳しい入試を突破し、入学式を迎えました。高度自動車科は今年度より4年課程として設立されましたが、高い技術と人間性を備えた高度専門士を目指して、頑張ってください。

最初に、皆さんに嬉しいニュースをお伝えしたいと思います。今年卒業した先輩たちの国家試験の結果は、2級が586名全員合格、1級の学科試験も27名全員が合格いたしました。この4月に創立45周年を迎える当校では、名門校としての伝統と実績、その全てのノウハウを駆使して皆さんの技術と心を鍛えていきたいと考えています。

さて、新しいスタートにあたり、基本的な心構えについて少しお話ししたいと思います。皆さんには、「高い志」を持って成長し続けて欲しいと願っています。人生において「成功」は約束されてはいませんが、意欲と努力さえあれば、「成長」は約束されるものです。そして成長し続けることで、成功はいつかは自分のものになると信じます。皆さんに当てはめて考えるならば、「志」とは、最高の整備士になって、

お客様のため、会社のため、社会のために貢献することでしょう。ここでは、卓越した技術を備え、お客様に満足と感動をあたえられる整備士になるために必要なことを3つお話ししたいと思います。

1つ目は、「素直な心と好奇心を持って成長し続けて欲しい」ということです。クルマの世界は日々新しい技術が導入されています。ひとつひとつ確実にマスターするとともに、限りない好奇心を持ち、素直な心で吸収し、誰からも信頼される整備士になってください。

2つ目は、「今からプロ意識を持って」ということです。プロの整備士は、エンジニアウェアを着ると、「お客様の命を預かっている」という自覚と緊張感が湧いてくるといいます。皆さんもエンジニアウェアを身につけ、絶えずプロ意識を持って実習に望んでください。

3つ目は、「自ら考え、行動する人」になって欲しいということです。企業の求める人物像は、「意欲と向上心を持って、自ら考え、行動する人」です。皆さんも、このことを絶えず意識し、成長し続けてください。最後に、健康には十分留意し、学生生活を送ってください。



新たな思いを胸に希望にあふれた662名



エンジニアウェア授与



誓いの言葉



特集 創立45周年  
The 45th anniversary

創立45周年記念式典

創立45周年を迎え、記念式典が行われました。4月29日、名古屋市西区のトヨタ産業技術記念館において、創立45周年を祝う記念式典を開催しました。第1部は開式の辞のあと永年勤続表彰、感謝状贈呈、校長挨拶、小栗トヨタ販売店協会 理事長祝辞、祝電披露、第2部は齋藤前当校理事長 乾杯ご挨拶のあと、懇親パーティー、シャンソン歌手の橋本奈央子さん、浜崎久美子さんによるシャンソンショーを行いました。尚、第1部で設立以来同窓会会長を務めていただいている大谷誠治様へ校長から感謝状をお渡しいたしました。

校長式辞

創立45周年を迎え、教職員一同喜びに耐えられません。これもひとえに皆様のご支援のためものと、厚く御礼申し上げます。当校は、記念すべき本年に4年制課程「高度自動車科」を新しくスタートさせ、自動車業界に人格・技術とも優れた人材を輩出できるよう、高度教育に邁進する所存でございます。今後とも倍旧のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

45年の歩み

当校は昭和36年、日本のモータリゼーションの幕開けとなる記念すべき年に、トヨタ自動車販売株式会社の直営校「中部日本自動車整備学校」として、織田信長ゆかりの地である清洲町に誕生。本年で創立45周年を迎えました。当初、1年制課程・3級整備士コース「本科」に149名の入学生を迎えてスタートした後、昭和51年に校名を「中部日本自動車整備専門学校」と改称。昭和52年に2年制課程・2級整備士コース「高等科」を新設。平成2年には高等科を「自動車整備科」と改称。同年、学校法人「トヨタ名古屋整備学園」として愛知県知事より許可を受け、トヨタ自動車株式会社春日センターの一部が日進へ移転したのに伴い、校舎を現在の春日の地に移転しました。平成3年、創立30周年を迎えると同時に同窓会を設立。平成13年、創立40周年には学生会館が完成し、同会館で記念式典を開催しました。



小栗トヨタ販売店協会 理事長による祝辞



齋藤前当校理事長による乾杯ご挨拶



シャンソンショー  
橋本奈央子さん、浜崎久美子さん



中部日本自動車整備学校  
設立(昭和36年)



全国学生自動車連盟整備  
コンクール(昭和39年)



中部日本自動車整備専門学校へ  
校名変更(昭和51年)



アメリカ研修を平成3年より開始



学園祭を平成10年より開始



充実した施設・設備(平成18年)

平成14年には日本初の2年制課程・1級整備士コース「自動車研究科」を新設し、募集定員40名でスタート。平成16年に校名を「トヨタ名古屋整備専門学校」と改称し、平成17年には板金塗装の実習や最先端技術を学べる総合技術棟が完成。本年、自動車研究科廃止に伴い4年制・1級整備士コース「高度自動車科」を新設しました。これまでに卒業生は20502名を数え、全国のトヨタ販売会社や自動車整備業界において、サービス部門はもちろん、あらゆる分野で活躍しています。

OB・OG紹介  
Past Students

当校を1986年に卒業し、昨年4月に広島トヨペット株式会社 大竹店 店長に就任された上田氏に、学生時代のエピソードや当校の学生への期待などについて語っていただきました。広島トヨペット株式会社は、「生涯おつきあいいただけるお客様づくり」を合い言葉に「信頼」という絆と至上の「満足」を提供する企業を目指し、躍進を続けておられます。



広島トヨペット株式会社  
大竹店 店長

上田 健氏

●トヨタ名古屋整備専門学校へ  
進学を決めた理由

子供の頃からクルマが大好き、特にトヨタ車が好きでした。だから高校を卒業したら名古屋へ行こうと決めていました。名古屋と言えば、トヨタ自動車の本社がある土地というイメージでしたから。でも勉強が苦手だったから必死でした。今振り返っても、受験勉強を頑張ったと思います。

●学生時代のエピソード

学生時代を一言で表現すると「お金が無い」といったところかな。親に無理を言って広島から出てきたので、生活費を補うために、いろいろなアルバイトをやりました。一番印象深いのは喫茶店でのアルバイト。おかげで簡単な料理なら一通りできるようになりま

した。見よう見まねですけどね。遊ぶお金は無かったけど楽しかったですね。好きなことをしてるという満足感がありましたから。

●仕事にまつわるエピソード

サービスエンジニアやアドバイザー、営業といろいろな職種を経験し、店長になりました。もともとサービスエンジニアでしたが、営業という業務には違和感はありませんでしたよ。サービスエンジニアはクルマの知識が豊富なので、むしろ営業においては「クルマの整備技術は最大の武器になる」と考えていました。営業をやっている一番嬉しかったのは、サービスエンジニア時代からお付き合いのあるお客様に、「上田さんを信頼しているから、上田さんから自動車を買いたい。メンテナンスについても適切なアドバイスが貰えそうだから。」と言ってくれたこと。エンジニアとしても営業としても最高の一言でした。

●広島トヨペットの大切にしていること・  
店長としてのモットー

社内には「何でも提案できる」、「何にでもチャレンジできる」といった会社風土があります。これは伝統ですね。新入社員の際は、上司に業務改善に関する意見をいろいろ出し、上司から「上田君はアイデアマンだね。これからも頼むよ。」という言葉を頂きました。自分の考えを尊重し認めてもらえた、と感じました。今の自分があるのは、そんな上司の元で働けたからだと思えます。店長となった今、店舗運営の全ての責任を負っていますが、私一人の力だけでは何もできません。スタッフの活躍があつてのことです。そんなスタッフのモチベーションを保つように導くのが私の最大の仕事だと思っているため、全員が意見を言いやすく、チャレンジ精神の芽を大きく育てる店長になりたいと思っています。

●トヨタ名古屋整備専門学校の学生に  
期待すること

トヨタ名古屋整備専門学校出身なら整備技術については何の問題ありません。私でもやってこれましたからね(笑)。むしろ社会人としてのマナーや心構えを身につけて欲しいですね。①元気にあいさつができること。②しっかりと話ができること。③社会的であること。④精神的に強いこと(ちょっとやそつとじゃへこたれない)。⑤自分で考え、積極的に何事にもチャレンジできること(指示待ち族ではダメ)。が必要です。トヨタ名古屋整備専門学校は、私が入学する以前から、「整備学校の東大」として一目置かれていました。皆さんも自信をもって頑張ってください。



広島トヨペット株式会社  
本社



広島トヨペット株式会社 大竹店

同窓会臨時総会開催のお知らせ

- 日 程: 平成18年7月2日(日)
- 会 場: トヨタ産業技術記念館(名古屋市西区則武)
- 記念講演: 登山家であり、レーシングドライバーの片山右京氏をお招きいたします。詳細につきましては改めてご案内申し上げます。



## 高度自動車科(4年制)新設!

### Four years Course

### サービスエンジニアの最高峰、1級自動車整備士!!

自動車整備士には、これまでの整備・点検・修理の能力に加えて、ハイブリッドカーなどの新技術や地球環境保全に対する知識、さらにお客様の声に的確に対応できる能力も必要とされるようになってきました。このような社会と企業のニーズを受けて、業界では2級自動車整備士を超える知識・技術・人間性を備えた“最高峰の自動車整備士”つまり“1級自動車整備士”が求められています。

1級自動車整備士とは、高度な整備技術に裏付けられたアドバイザー能力、環境保全、安全管理などの知識と技術を持つ、社会のニーズに応えられる整備士として位置づけられています。このため1級自動車整備士には、2級自動車整備士の知識技術力に加えて、①電子制御装置の高度整備・故障診断技術。②振動・騒音の高度整備・故障診断技術。③新技術(ハイブリッド・CVT等)知識。④総合診断(問診・診断・整備計画等)と整備結果の内容説明。⑤環境保全。⑥安全管理。などの技術が求められます。こうしたニーズに応えるために、当校では、平成14年4月に日本初の2年制の1級自動車整備士コースとして自動車研究科を開設しました。しかし、自動車整備科(2年制)+自動車研究科(2年制)の分割された教育よりも、真の専門知識や技術、幅広い教養を身につけた人材を育成するには一貫した教育の方が望ましいという考えから、平成18年4月、1級自動車整備士コースを4年制の高度自動車科として新たにスタートしました。

高度自動車科は、教育目標として、『自分で考え、分析し、行動できる人材の育成』を掲げています。高度自動車科では与えられた課題を処理するだけの受動的な授業ではなく、自分で課題を見つけ、問題点と改善方法を探究していく能動的な教育を行っています。また高度自動車科では、1級自動車整備士に必要な知識・技術を修得するだけでなく、マーケティング・法学・語学など幅広い教養を身につけるためのカリキュラムが用意されています。

このように充実したカリキュラム内容を修得した卒業生には、専門士よりもワンランク上の「高度専門士の称号」および「大学院入学資格」が付与されます。さらに、多くの企業では4年制大学卒業と同等の待遇で迎えます。サービスエンジニアの最高峰を目指すなら高度自動車科にLet's Challenge!!

今後も当校では特長あるカリキュラムづくりや教育環境の整備など、「ナンバーワンでオンリーワン」の学校を目指して邁進します。



2006年4月  
スタート!

1級コース専用実習場

## 就職状況

### Career Counseling

### 就職相談室だより

2008年3月卒業対象生への就職試験は、早い地区では2月から実施されており、緊張感高まる雰囲気の中、学生・教職員とも毎日奮闘しています。

4月20日現在、505名が内定済み。しかも第1希望の企業への内定者は475名、内定率は88.1%と順調な滑り出しです。この第1希望への内定率は、昨年の79.4%を大きく上回る結果となっています。この数字から、学生一人一人の努力と、当校卒業生の方々の功績が高く評価されていることが読み取れます。

就職相談室では、今後も全学生が就職内定できるよう、全力をあげてサポートしていきます。



万全な就職サポート

## 在学生の近況

### Student's Now

### 社会見学

3月1日～3月2日の2日間、自動車整備科1年生を対象とした社会見学を実施しました。この社会見学はトヨタ自動車(株)高岡工場、トヨタ会館、産業技術記念館を見学し、トヨタの歴史と生産システムを学ぶものです。

### 産業技術記念館見学

自動車整備科 小田 慎二

産業技術記念館を見学して感じたことは、豊田自動織機の方々の並々ならぬ努力があったからこそ、現在の大企業としてのトヨタがあるということです。従って、今後私はそんなトヨタグループの一員として働くために、これからもしっかりと勉強してトヨタの名に恥じめよう頑張っていきたいと思いました。

### 高岡工場見学

自動車整備科 浜崎 慎也

私が高岡工場を見学して感じたことは、人間の感覚の素晴らしさでした。どんなにセンサーが発達しても人の目や手の感覚の方が機械より優れている部分があり、最終的には人の力によって良い製品が生産出来るという事実でした。つまり、世界のトヨタを支えているのはこの様な工場に働いている方々の地道な努力であるため、私が将来、販売会社で整備を行なう時には、この車を造る人に対して失礼の無い様に確実な仕事をしなければならぬと感じました。

### 自動車整備士国家試験

今回が初めてとなる当校を試験会場とする登録試験(国家2級試験)が3月26日に行われ、いつもの慣れ親しんだ教室でありながらも厳粛に2級ガソリンと2級ジーゼル試験をスーツで身を引締め586名が受験しました。1月末から約1カ月間に渡り試験対策授業を毎日夜遅くまで、時には休日も学校に出てきて勉強してきた成果を発揮すべく、また2年間の集大成として皆が緊張の面持ちでした。ここ数年、問題を受験生が持ち帰ることができるため試験を終えた学生から問題を借り即座に模範解答をつくり、試験終了後には全員が体育館のアリーナに集まり答え合わせを実施しました。そこでは歓喜の声が上がり涙する者や抱き合っただけの苦勞をたたえ合う者でアリーナ全体がお祭り騒ぎ、そしてお世話になった先生と固い握手を交わし、さながら卒業式をもう一度行っているような雰囲気でした。

試験翌日から就職先での新人研修が始まる仲間もあり、息をつく間もなく別れを迎えましたが、この2年をいかして立派に成長し、再び会って思い出話ができる日を期待しています。

今年も  
全員合格!



深夜まで熱心に勉強する学生達

### 卒業研究発表

高度自動車科の4年次では、「卒業研究」の授業カリキュラムを設けています。卒業研究は、テーマ決定→調査・実験→考察・まとめ→論文作成→研究発表という流れで実施しており、研究の各過程で「問題意識や疑問をもつ」「問題や疑問を実験や調査により追求する」「追求結果を分析し考察する」「文章にまとめる」「わかりやすく発表する」などの力を養うことができます。

研究途中では様々な問題点が発生し、その度に考える力と創意工夫により困難を乗り越えてきました。この努力は社会人として働くあらゆる困難な状況のもとでも、それを乗り越える礎となると思っています。

今年で3回目となる研究発表会では、「トルク法によるねじの締結法の検証」「改良型SQ台車の製作」「ガスタービンエンジンの製作」などの研究発表が行われました。今年から販売店の方々にも聴講いただき、学生の緊張も高まる中での発表会となりましたが、成功裡に終わり、高い評価を受けました。



白熱した発表会



## Activity Report

### 活動紹介

#### 試乗会&自治会紹介

3月4日、学生自治会による第2回試乗会が開催されました。この試乗会は、学生の運転技術の向上や車両感覚を掴むなどの目的を持ち、校内の外周路で教材車両を用いて実施されています。普段乗ることのできないスープラを始め、MR-S、トヨエースなど、様々な車両を用いて、S字クランク、スラローム、ロープを用いた段差の乗り越えなど、工夫を凝らしたコースの試乗が実現しました。

この試乗会は、学生自治会が企画、運営しています。

学生自治会は、有志の学生により、自分達の力で学内での生活を改善したり、試乗会やクラブ説明会、学園祭などを企画運営し、楽しい学生生活にしたいという目的から発足しました。現在も新入生を対象に、クラブ説明会の企画をしている最中です。その後は、学生生活最大のビックイベント、学園祭を企画する予定です。有志の集まりではありますが、メンバーも増え、着実に一人ひとりの企画実行力がアップしています。今後に大きく期待してください。



校内での試乗会

## Commemoration Report

### 記念植樹式紹介

#### 創立45周年『記念植樹式』

4月25日、当校は創立45周年を迎えました。この45周年を記念し、同窓会から、記念樹の寄贈がありました。記念植樹式は、同窓生および学生の代表らが参加して行われました。

同窓会よりサルスベリの木を寄贈していただきました。夏に100日程度、紅色の花が咲くところから、この木は別名「百日紅」と呼ばれています。

校長より同窓会に対して、「私達もこのサルスベリの花の色(紅)のような熱い情熱を持って日々努力し、優秀な整備士育成に向け情熱を注いでいきます。」とお礼の言葉がありました。



学校・同窓会・学生代表



植樹式

## Training Report

### 研修報告

#### 富士スピードウェイ安全運転講習会

終業式の翌日となった3月23日、24日、自動車整備科1年生22名が参加して、安全運転講習会が行なわれました。23日は裾野市にあるあいおい保険自動車研究所 東富士センターで研修を行い、宿泊施設を利用して1泊しました。翌24日には、富士スピードウェイ内に昨年新設された、トヨタ交通安全センター「モビリティ」にて、トヨタドライバーコミュニケーション(安全運転トレーニング)を受けました。

2人で1台のマークXに乗り、約10万m<sup>2</sup>の広大なフラットコースで高速フルブレーキングや35度バンクでの運転姿勢の確認、低μ(ミュー)路でのABSやVSCの作動確認など、「走る、曲がる、止まる」の限界を安全に体験しました。また、富士スピードウェイのサーキットの体験走行を1人2周ずつ行い、F1が開催されるコースを自分でドライブしてきました。どの学生も、楽しみながら安全なドライビングを身につけることができました。トヨタグループの施設を十分に活用した、意義深い研修となりました。



隊列走行



インストラクターからの熱心な指導



講習を終えて



低μ路走行

#### トヨタ白川郷自然学校研修

4月17日～26日、自動車整備科1年生を対象に、4クラスで2日間ずつトヨタ白川郷自然学校研修を実施しました。自然の大切さを体験し環境意識を向上すること、仲間とのコミュニケーションを図りお互いを理解することを目的としました。

自然学校に到着する前に世界遺産の白川郷合掌造り集落を見学し、その後自然学校での研修に臨みました。「自分の手で森を育む」では豊かな森を育むために木の伐採、下草刈りなどを3時間ほどかけて行ない、慣れない作業に四苦八苦しながらも、熱心に取り組んでいました。また、「ナイトハイク」では闇と静寂に包まれた夜の森を散策しました。インストラクター以外は懐中電灯を使わずに歩くため、学生達も最初は緊張した面持ちでしたが、徐々に夜の森に慣れ、森の中での遠くの鳴き声や星の輝きなどに見入っていました。

この研修で得たものを将来に活かしてほしいものです。



レクリエーション風景

トヨタ白川郷自然学校

## Information

### 2007年4月入学生募集

全員が学科、実習とも基礎から学べるため、無理のないステップアップが可能に。誰でも「自動車整備」のスペシャリストをめざすことができます。自動車に関する専門技術教育と企業ニーズにあった職業教育をおこなっています。



### オープンキャンパス

#### ◆学校見学会

6月10日(土) 8月26日(土)  
6月17日(土) 8月30日(水)  
6月24日(土) 9月16日(土)  
7月1日(土)  
7月21日(金)  
7月24日(月)  
7月28日(金)

#### ◆体験入学

8月2日(水)  
8月3日(木)  
8月5日(土)  
8月7日(月)

#### ◆入試説明会

9月23日(土) 当校にて開催  
9月30日(土)  
大阪・広島・福岡にて開催

### 今後のおもなスケジュール

#### ◆アメリカ研修

5月15日(月)～5月28日(日)

#### ◆就職セミナー

7月6日(木)

#### ◆自動車整備科 2年生定期試験

7月20日(木)～7月26日(水)

#### ◆夏休み

7月28日(金)～8月27日(木)

#### ◆カナダ留学

7月30日(日)～8月26日(土)